

特集

Feature Articles

- ① 学生生活意識調査からみる帝塚山大学
- ② 教育学部こども教育学科が誕生
(2019年4月設置構想中)



T's幅(テツバン)プロジェクト(→P13)に取り組む、日本文化学科と居住空間デザイン学科の学生たち

- 5 卒業生紹介
- 6 キャンパスレポート
- 8 学生生活 TOPICS
- 9 就職支援の取り組み
- 10 クラブ・サークル活動
- 12 地域連携 最新の取り組み
- 13 クローズアップニュース
- 15 後援会(在校生保護者)の皆様へ
- 16 帝塚山 NEWS& TOPICS
- 18 お知らせ・イベントニュース



学生生活意識調査からみる帝塚山大学

本学では、入学から卒業までの大学生活4年間を通して、学生を対象とした各種アンケートを定期的に行い、各時点における学生の現況を把握するとともに、その結果を教育や学生支援の改善に活かすべくIR（※キーワード参照）に取り組みます。今回、在学生を対象に、朝食摂取等の生活習慣や、学習時間等に関する「学生生活意識調査」を実施しました。これらの結果を分析し、導き出された課題を整理することで、今後の教育や学生支援策の改善に役立てていきたいと考えています。

学生生活意識調査結果レポート

■朝食を毎日食べる学生は全体の5割

朝食について尋ねる質問に対して、「毎日食べている」と回答した学生が半数を占めました。一方で、「週に1、2日」「週に1回

も食べていない」と回答した割合は合計22.6%と、朝食を食べる習慣のない学生も一定の割合いることがわかりました。これについて、向井篤弘副学長（学生支援担当）からは「朝食は1日の活力源なので、毎日食べる習慣をつけることは大切です。特に下宿生の

食生活は乱れやすいですが、本学の食堂では帝塚山大学後援会の支援のもと、20円から食べられる朝食を提供していますので、是非利用してもらいたいと思います」とのコメントがありました。「1日の平均睡眠時間」については、「5時

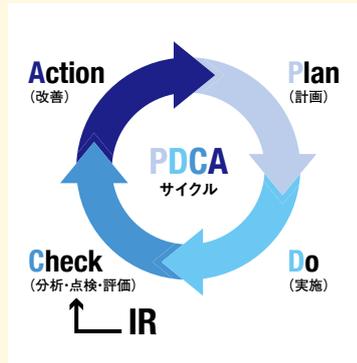
■全国的に課題となっている、授業時間「外」の学習時間

「授業開講期間中1週間あたりの授業時間外の学習時間」について、「5時間以下」と回答した学生が76.0%を占め、これは、学習時間が少ないといわれる全国と同様の傾向を示していますが、3年生の学習時間が大学全体と

間以上7時間未満」と回答した学生が最も多く55.8%を占めました。次いで、「3時間以上5時間未満」(22.0%)、「7時間以上」(17.1%)、「3時間未満」(5.1%)という結果となりました。

IRとは？

[Key Word]



大学におけるIRとは、Institutional Researchの略称で、大学の教育・研究などに関する情報の収集・分析を通して、大学の経営に関する意思決定や、教育の改善のための計画策定などの支援を行うことを言います。

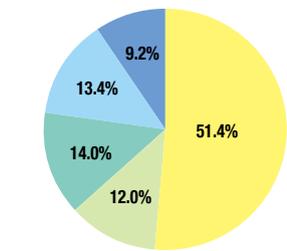
IRという言葉は近年、大学において大きく取り上げられるようになってきました。18歳人口の減少をはじめ社会が大きく変化する中で、大学が自らの責任で教育活動等の質保証を担うこと（内部質保証）が強く求められるようになったことが、その一因です。内部質保証とは、大学がPDCAサイクル等を適切に機能させることによって、質の向上を図り、教育・研究等が適切な水準にあることを大学自らの責任で説明し証明していく学内の恒常的・継続的プロセスのことです。IRは、このPDCAサイクルのC（Check）において大きな役割を果たすことが期待されています。

本学においてもIRを推進すべく、平成27年にIR委員会が設置され、学長室がその事務を担っています。今後も各種調査を実施し、その結果を分析することで、大学として様々な改善につなげられるよう努めてまいります。

本学においてもIRを推進すべく、平成27年にIR委員会が設置され、学長室がその事務を担っています。今後も各種調査を実施し、その結果を分析することで、大学として様々な改善につなげられるよう努めてまいります。

- ＜参考資料＞
- ・「大学評価ハンドブック」公益財団法人 大学基準協会
- ・「認証評価 第3サイクルに向けて」『カレッジマネジメント』vol.204 リクルート 等

朝食について(ひとつ選択)

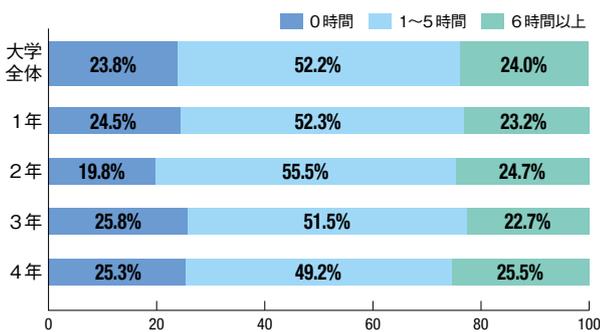


- 毎日食べている
- 週に5、6日食べている
- 週に3、4日食べている
- 週に1、2日食べている
- 週に1回も食べていない



ご飯とお味噌汁の朝食定食 帝塚山大学後援会のご支援のもと、ご飯とお味噌汁にふりかけ、または海苔が付いて20円の朝食を提供。追加で選べる小鉢（別売）も用意しています。

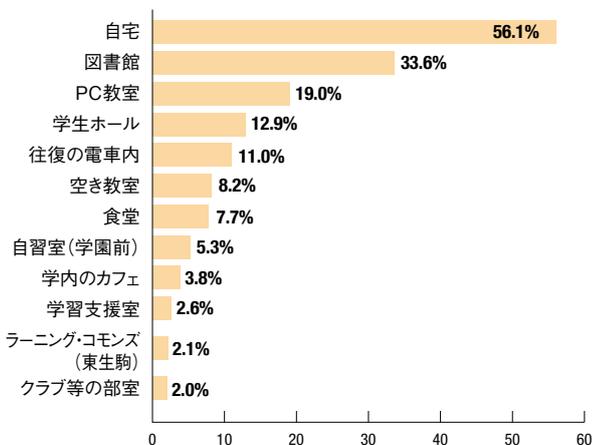
授業開講期間中の1週間あたりの授業時間外の学習時間はどのくらいですか。(ひとつ選択)



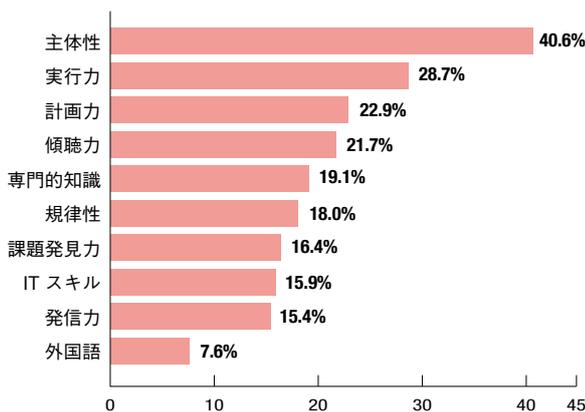


PC自習室 学生が自由に自習できる環境として、最新のPC（パソコン）を完備した部屋を数多く配備しています。

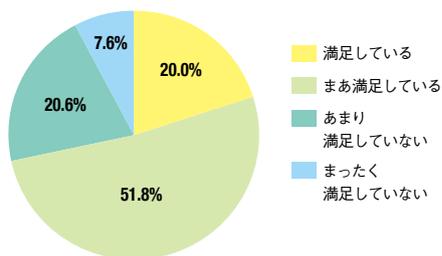
どこで学習していますか。(複数選択可)



これまで身についたと思う「力」や「知識」を選択してください。(複数選択可)



帝塚山大学に満足していますか。(ひとつ選択)



学生生活意識調査実施概要：在学生全員を対象。webによる後期の授業科目の履修登録画面にアンケート設問が自動表示され、その場で入力。回答者数3,074名(男子1,585名・女子1,489名)、回答率93.9%。

比較して、やや少ない結果となりました。また、「どこで学習しているか」の質問については、自宅と回答した割合が最も多く56.1%を占めました。このほか、図書館(33.6%)、PC(パソコン)教室(19.0%)の回答も多くありました。これらの結果について、飛世昭裕副学長(教学担当)は、「本学では自習室の設置等、学生の学習時間の確保のためにハード面の拡充を進めています。今後、さらなる学習時間の確保のため、教育課程の編成に関する全学的な方針の策定や施設の利便性等、ソフト面についても考えていくことが課題と言えます」とコメントしています。

■ これまで身についた力は

「主体性」・「実行力」・「計画力」

「これまで身についたと思う力や知識」につ

いて質問したところ、主体性(40.6%)、実行力(28.7%)、計画力(22.9%)の順に高い値を示しました。一方、低い値の項目は、下から順に外国語(7.6%)、発信力(15.4%)、ITスキル(15.9%)という結果となりました。所属学科別みると、「主体性」はこども学科、「実行力」は日本文化学科、「発信力」は文化創造学科が、他学科と比較して高い値を示しました。このほか、「規律性」は法学科、「傾聴力」は心理学科が他学科よりも高い値となりました。これらの結果について、蓮花二己学長は「本学では『実学の帝塚山大学』をスローガンに掲げ、『プロジェクト型学習』を推進しています。身についた回答の割合が高かった力はその取り組みによるところも大きいでしょう。数値の低かった力についても、実社会で求められますので、今後どのよ

うに学生に身につけさせていくか、学内で検討の必要があります」とコメントしています。

■ 在学生の7割以上が「帝塚山大学に満足している」と回答

「帝塚山大学に満足しているか」の質問について、「満足している」「まあ満足している」と回答した割合は合計で71.8%でした。この結果について、多賀久彦大学事務局長からは「本学は教職員と学生の距離が近い大学として、面倒見が良い大学をめざしています。今回の数値に満足せず、継続的に学生支援に取り組んでいくことが大切です」とのコメントがありました。

誌面の都合上、ここには掲載できませんでしたが、本アンケートではこのほか、学内の

各種施設のうち満足している施設(または改善を求める施設)を尋ねる質問や、大学に対する意見を自由記述で回答する質問などについても、大学として真摯に受け止め、今後、さらに検証を重ね、改善へと繋げていきたいと思えます。

最後になりましたが、今夏、新たな取り組みとして保護者アンケートを実施いたしました。保護者の皆様にはご協力いただき、誠にありがとうございました。貴重なご意見をお寄せいただきましたこと、心より御礼申し上げます。集計結果がまとまりましたら、本誌面にて報告させていただきますと思います。この他、本学で実施している各種調査結果につきましても「IRレポート」として定期的に掲載していく予定です。

子どもの資質、能力をのばす教員の養成をめざす

教育学部こども教育学科が誕生 (2019年4月設置構想中)

これまでの教育は指導要領(幼稚園教育要領、小学校学習指導要領)に従い「学習する内容が中心のカリキュラム」と、「先生が何を教えるか」に重点が置かれていました。これからの教育は「育成する資質、能力を伸ばせるカリキュラム」へと方針が大きく転換され、「子どもが何をできるようになるかを指導すること」が教育者に求められる必要な力となりました。

そこで、帝塚山大学は現代生活学部こども学科を2019年度より、教育学部こども教育学科に改組し、これからの教育者に求められる知識・スキル・経験を有した教員を養成します。

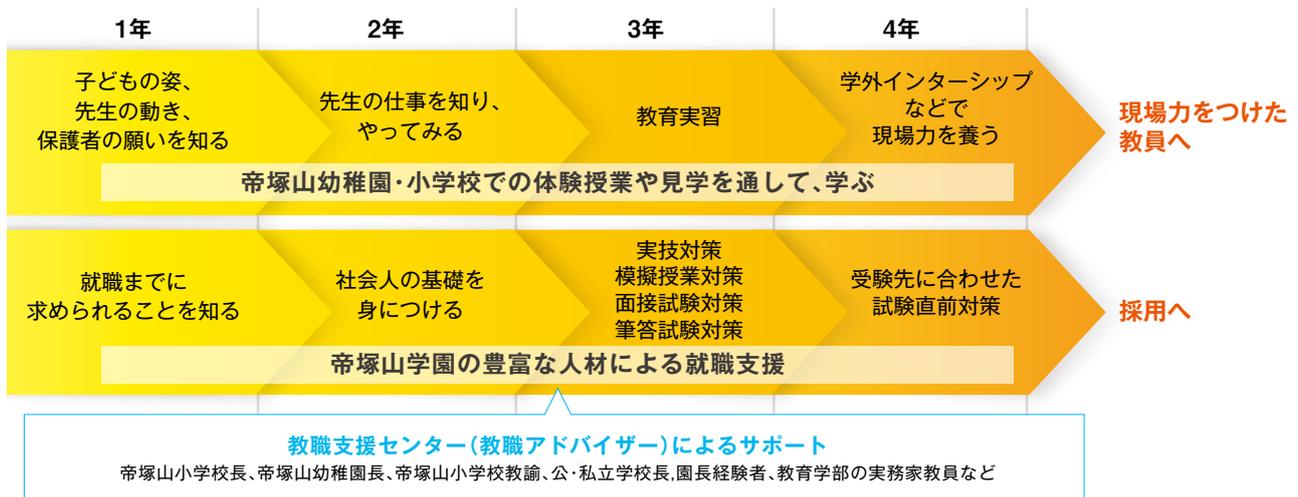
① 小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の3資格を取得

長期的に子どもを理解し、トータルでサポートするためにも小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の3資格を保有した人材が必要と考え、教育学部では「学校教育コース」「幼児教育コース」のいずれのコースを選んでも3資格の取得をめざします。



② 確実に教育者・保育者としての力がつく帝塚山ステップ式サポート

総合学園としての強みを生かし、帝塚山幼稚園・小学校・中学校・高等学校との連携による学びで現場力をつけた教員をめざします。保育、幼児、初等教育に関するさまざまな実習を行える施設や設備を備え、それらを活用した教育を行います。また、学園の豊富な人材による就職支援を受けることができます。



③ 教育現場のグローバル化に対応した独自の英語教育

コミュニケーションのための英語塾を開講

「留学しないと英会話能力は身につかない」

そんなことはありません。

高校までとは全く異なる学びの環境で、「話せる」「伝わる」英語を習得します。



帝塚山小学校から学ぶ最新の小学校英語教育

帝塚山小学校は約70年にわたり、英語を教科として全学年に位置づけ、独自のプログラムを他私学に先がけて展開しています。授業見学、模擬授業参加、英語教室運営の補助等を通じて、同一キャンパスで展開される伝統的で先進的な取り組みから、小学校英語教育の実際を学びます。

卒業生紹介

現在、窓口業務を担当するお客さまサービス課に所属しており、窓口に来店されたお客さまのご案内や新規口座開設、振込・入出金、諸届等の手続きを行っています。入社5年目からは課内のまとめ役であるチームリーダーに任命されました。窓口業務を迅速かつ的確に進めるため、常に状況を把握し、事務処理を振り分けたり、各担当者のフォローや指導を行っています。徐々にチームをまとめるということにも慣れ、現在はマネージャーのサポートや支店内の他係

との架け橋となるよう努めています。

今後の目標として、ご来店されるお客さまに満足いただけるよう、資産運用等の相談業務もできるようになりたいと思っています。そのためにも投資信託や保険商品等の幅広い知識をつけていきたいと考えています。また、今後の支店へ転勤になってもチームリーダーとして役割を果たせるよう、様々な経験をしてお客さま、働く仲間の両者から信頼されるよう努めていき、いずれはマネージャーという次のステップへの挑戦もしていきたいと思っています。

就職活動に臨む後輩たちへのメッセージ

基本的な企業分析や自己分析はもちらんのこと、自分自身がその企業でどのような仕事をしたいのか、どのような5年後、10年後を迎えたいのかを思い描くことが重要だと思います。私自身、将来像を具体化することでモチベーションの向上にも繋がり、面接でもその想いを伝えられたと感じました。また、学生の間に講義やゼミ等で様々な人意見交換をして視野を広げたり、資格の取得をすることも就職活動の成功に繋がると感じます。

就職したら終わりではなく、就職してからが本番だと思いますので最後まで諦めずには是非頑張ってください。

「あなたの本職は何ですか?」と、よく病院のスタッフから冗談を言われます。どこにでも顔を出し、今では様々な業務を担当させてもらえるようになってきました。しかし、本業はもちろん管理栄養士で、主な業務は入院患者様の栄養管理です。当院では入院患者様の大半が栄養状態の悪い高齢者で、積極的な栄養介入が必要とされます。入院当初から、医師・看護師・薬剤師などの医療スタッフと連携し、栄養学的視点から治療の一助を担います。医療現場における管理栄養士の活躍の場が広がる中、ますます強まる期待と責任に胸が高まります。今年の4月から、栄養科の副主任として、新たな任務をいただくことが出来ましたが、一つの部署の責任者としてだけでなく、今後も様々な分野で活躍できるよう精進していきたく考えております。

医療現場における栄養学は未完成の学問だと感じますが、「栄養の力」を多くのスタッフに理解してもらい、協力を得ることとは非常に重要で、今後必要不可欠なものになることは間違いないと考えております。この病院に入職した当初は、管理栄養士が病棟にいること自体、不思議な目で見られましたが、今では多くの医療従事者が栄養に興味を持ち、積極的にアプローチをかけてくれます。

就職活動に臨む後輩たちへのメッセージ
あつという間に過ぎてしまう4年間で、自分を見つめなおし、今後の人生の大きな第一歩を踏み出すのは、それほど容易い決断では

ないと思います。栄養の専門家をめざして入学した4年前とは考えが変わり、違った世界に興味を持つ人もたくさんいることでしょうか。本当に自分に適しているものが何なのかなんて分かりません。だからこそ、今思う可能性と自分が輝ける舞台があることを信じて突き進んでみれば良いと思います。しかし、個人的には、管理栄養士という国家資格を取得したのなら、ぜひその道を究め、一人でも多くの優秀な管理栄養士が育ち、活躍してくれることを望んでいます。



木野 裕介さん

現代生活学部 食物栄養学科 2013年3月卒業
医療法人紀和会 正風病院 栄養科 勤務 (管理栄養士)



01 文学部 日本文学文化学科 作家澤田瞳子氏による公開授業・講演会 「歴史を書く、歴史を探す」を開催

来年度より文学部が新しく生まれ変わることを記念し、11月10日に作家澤田瞳子氏による公開授業・講演会を開催しました。株式会社 KADOKAWA の編集者山根隆徳氏との対談形式で、自在な雰囲気の中、すばらしい講演が展開され、会場全体が強く引き込まれました。質問コーナーでも学生からの多くの質問にご対応くださり、歴史を学び、文学を学びながら、社会人をめざす文学部学生にとって、本当に豊かな学びの場となりました。

02 経済学部 経済学科 帝塚山パパデカフェ研究会の取り組み



中嶋航一教授のゼミ生による帝塚山パパデカフェ研究会は、2016年に地元奈良県のフジエダ珈琲株式会社様のご協力によりパパデカフェというブランド名でデカフェ珈琲(豆)を企画し、映画館やレストランで販売営業を行い新聞にも取り上げられました。その後3年生が中心になって2017年4月のあかね祭に出店し、4年生が開発したパパデカフェ(豆)を使って

アイスコーヒーを販売し、また珈琲市場に関するアンケート調査を行いました。更に帝塚山大学同窓会第1回「学生(準会員)チャレンジ制度」にパパデカフェ・ドリップパックの企画で応募し採用され、6月の同窓会50周年の記念行事にて新商品のお披露目を行いました。11月の虹色祭でもパパデカフェの出店を行うなど、多様な活動を展開しています。

03 経営学部 経営学科 特殊講義(地元BtoBオンラインワン企業講座) を行っています

この授業は、関西圏にある企業間(BtoB)取引やモノづくり業界の企業で、獨創性・獨自性の高いオンラインワンな製品やサービスを提供し、高い市場シェアを誇っている地域の優良企業について、理論と実務の両面から学ぶことを目的として、昨年度から設置されたものです。今年度も、多くの地元優良企業の皆様のご協力によって開講することができました。学生たちは、講師としてお招きした企業の方々のリアルな講義に興味津々の様子です。



04 文学部 文化創造学科 NPO実務士資格証書授与式



文化創造学科では、学科開設以来、村田武一郎教授を中心に、地域まちづくりに関する教育研究活動を重点的に実施しており、その一環として、NPO実務士資格取得のための科目群をカリキュラムのなかに設けています。このたび、本学科1期生(現4年生)7

名が資格取得に必要な全科目の履修を終え、NPO実務士資格を授与されました。10月3日に授与式が行なわれ、清水昭博学部長より各学生に証書が手渡されました。

05 法学部 法学科 市役所勉強会が始まりました

市役所志望の学生のために、関准教授(政治学)と青田准教授(行政法)が中心となって、市役所勉強会が始まりました。採用試験対策はもちろん、市役所の仕事を理解するため様々な活動を行う予定です。すでに卒業生との交流会、奈良市の農家民泊実践事業へのモニター参加など、活動をスタートさせています。今後、現職の市役所職員による行政実務講座を開講するなど、市役所志望の学生の支援をさらに進めていきます。



▶ 帝塚山大学大学院より

01 ▶ 心理科学研究科 心理科学専攻 日本応用心理学会第83回大会にて 優秀大会発表賞を受賞



川合悟教授と渡邊拓人さん（心理科学研究科博士前期課程修了）、小原宏基さん（心理科学研究科博士後期課程在籍）のチームが、日本応用心理学会優秀大会発表賞を受賞しました。これは、「物体の慣性系情報が持ち上げ時に知覚される重さに与える影響」という研究発表が評価されたものです。人間が物体を持ち上げたときに生じる重さの感覚・知覚についての現象面およびその発生機序の解明。今後の発展が期待されます。

02 ▶ 人文科学研究科 日本伝統文化専攻 日本民俗学会第69回年会にて 学術発表を行いました



10月15日、人文科学研究科日本伝統文化専攻博士後期課程に在籍する西連寺匠さんが仏教大学で開催された日本民俗学会第69回年会で学術発表をしました。西連寺さんの研究テーマは村境の民俗であり、これまでに災厄防除のために村の入り口に設置される人形、大草履、勧請縄などの調査を各地で行ってまいりました。今回は「奈良県の勧請縄とコト八日」という題で奈良県の勧請縄について調査、分析した内容を報告しました。

06 ▶ 心理学部 心理学科 第10回心理学検定に挑戦しました！



8月20日に開催された第10回心理学検定に心理学部の学生180名が挑戦しました。今年も団体受験者数が全国1位となり、難関である特1級、1級の資格取得者も増えてきました。9月に開催された日本心理学会第81回大会では、本学心理学部の取り組みが評価され、「心理学検定

のこれまでとこれから」というシンポジウムで、谷口淳一教授が話題提供者として講演を行いました。本学心理学部の手厚いサポート体制は、学会参加者の方々からもかなりの注目を集めていました。

07 ▶ 現代生活学部 こども学科 帝塚山幼稚園・小学校でインターンシップを実施

こども学科では、2年生を対象にした「応用演習Ⅰ」の授業において、将来の進路にあわせて小学校コースと幼保コースに分かれて必要な基礎的知識や姿勢を身につけるための取り組みを行っています。その一環として、今年度から新たに帝塚山幼稚園・帝塚山小学校と連携してインターンシ



ップを企画して実施しました。小学校のインターンシップではクラブの指導補助や掲示環境づくり、放課後の学習補助などを、幼稚園のインターンシップでは保育補助などを体験しました。

08 ▶ 現代生活学部 居住空間デザイン学科 学生作品展が開催されました



10月9日～13日、学園前キャンパス学生ホールで、「居住空間デザイン学科 プロダクトデザイン／ビジュアルデザイン分野 2017年前期学生作品展」が開催されました。

会場には、1年次の

デッサン、2・3年次のプロダクトデザイン、ビジュアルデザイン分野の課題作品が多数展示され、各学部の学生、教職員多数の方にご覧いただきました。

また、文学部日本文学学科と居住空間デザイン学科の学生による、「実学の帝塚山」を象徴するコラボレーションプロジェクト「帝塚山大学の幡をつくる T's 幡プロジェクト」の提案パネルと試作品も展示されました。

この作品展は、作品を制作した学生や、これから本格的にデザイン課題に取り組む後輩達にとって大いに励みになったようです。

09 ▶ 現代生活学部 食物栄養学科 校内連携から地域へ広がる食育の輪 帝塚山幼稚園・小学校と連携し食教育を推進

帝塚山幼稚園・帝塚山小学校と連携し一年を通して、学生が企画した様々な食育プログラムを実施しています。幼稚園では「作って食べよう！」をテーマに、手作りパンや、七夕ゼリー作りの体験学習や、学生が考えた給食献立を提供し、毎回ミニ講義を



実施。食べることの大切さを伝える実践教育法を学びます。小学校では「考えて食べよう」を念頭においての授業や、給食の時間を利用して食や栄養に関するミニ講義、調理実習を企画実施しています。

また、地域の企業と連携し、宅配弁当の開発など食育活動を展開しています。

学生生活 TOPICS

国際交流のさらなる活性化に向けて



学長補佐（全学共通教育・国際交流担当）
大西 智之 教授
全学教育開発センター長

本学では開学時からの教育理念として、「広い国際的視野の上に～地域と国際社会に貢献することのできる人材の養成」を掲げています。そこで、改めて国際交流の面についても改革すべく、今年度より新たな取り組みを試みているところですが、奈良県の企画する「奈良県友好交流を担う次世代養成事業」への参加もその一つです。5回目となる今年度は、エントリーに当たっての事前アドバイスやキャリアセンター職員による模擬面接練習など、大学を挙げて学生諸君の支援を行った結果、本学から派遣学生として3名が選ばれました。

事前事後の研修を含む4ヶ月にわたるプログラムを通して、3名はそれぞれに大きく成長し、何かしら手応えを感じて帰ってきました。この貴重な経験は今後、彼ら個人個人の学生生活ならびに社会人としての生活において、大きな自信となることは言うまでもありませんが、併せて、その自信が周りの学生にも波及し、それがひいては大学の活性化にもつながるものと思われま。来年は今年以上に多くの学生諸君がチャレンジしてくれることを期待します。

「奈良県友好交流を担う次世代養成事業」を開催

5回目の事業実施となる今年度は本学の大西学長補佐（全学共通教育・国際交流担当）の働きかけによる全学的なアナウンスのもと、両キャンパス併せて6名の学生が本事業へ出願し、県による選考の結果、中国：網野晋之介さん、韓国：西村星南さん、西本つかささんの3名が採用され、各国へ派遣されることになりました。

7月から奈良県知事広報室国際課による事前研修が始まり、奈良県の概要、国際交流施策、日中／日韓交流の歴史、奈良と中国／韓国とのゆかりを学ぶと同時に、県内フィールドワークなどの課題へ取り組み、各国訪問の準備を進めました。

そして、9月6日から10日までの5日間、本学以外の採用者と併せ、各国7名、総勢14名の派遣団として両国を訪れました。現地の独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）事務所で対日本の貿易概況に関する説明を受け、現地の大学を訪問して学生との交流を図ったり、現地で活躍するビジネスパーソンの講演を聞いての意見交換を行ったり、奈良とゆかりの深い歴史文化遺産の視察を行ったりするなどさまざまな体験をしました。

10月21日には奈良県庁で総括となる成果報告会が開催され、それぞれが現地での体験を報告し、今後どのような国際交流活動に取り組んでいくかについて抱負を語りました。また、11月18日には蓮花学長や各学部・学科長に向けての学内報告会が催されました。

3名の学生たちは、これら4ヶ月間のプログラムで現地の方々との触れ合いを通じて国境を越えた絆を結ぶとともに、国際感覚を身につける貴重な体験ができました。



中国：西安市の鼓楼にて陝西師範大学生との交流



韓国：（一財）自治体国際化協会ソウル事務所 訪問

参加学生の声

■ [派遣先] 中国 陝西省（せんせいしょう）



網野 晋之介さん
文学部
文化創造学科1年
訪中前に行われた事前研修では、平城宮跡や東大寺へのフィールドワークを通して、奈良と中国との歴史的な

ゆかりも楽しく学べました。自分が今まで興味なかった様々なものや人と関わることが楽しくて、沢山の経験や学びを体験することができました。これらのことから、国際的コミュニケーション能力も身につけることができ、言葉の壁を越える第一歩を踏み出せたように感じました。この事業では、他大学の学生や異国の方々との絆を深めることで、自身の交流の場を増やすことができます。

■ [派遣先] 韓国 忠清南道（ちゅうせいなんどう）



西村 星南さん
経済学部
経済学科2年
この事業は、7月の事前研修に始まり、9月に訪韓、10月に事後研修開催といった4ヶ月にわたる長期間で取

り組みます。大学の授業との両立は大変でしたが、それ以上に貴重な体験ができました。現地大学生との交流や企業見学、地元副知事との対談など、観光旅行ではできない経験を通じ、私の中で国際感覚が養われたと感じます。私が今まで持っていた韓国に対するイメージと、実際に訪れて初めて分かった現地事情や現状を知ることができ、とても意味のある研修となりました。



西本 つかささん
現代生活学部
居住空間デザイン学科3年
出願に際し、韓国語を話せないといった点で躊躇しましたが、訪韓してみると言葉が通じ

なくても温かく迎えてくれる韓国の方々に出会い、一歩踏み出す勇気が身についたと思います。事前研修では奈良県の概要や国際交流事業について講義を受け、高松塚古墳や飛鳥寺、法隆寺や中宮寺でフィールドワークに取り組みなど、奈良と韓国のゆかりについて学びました。訪韓してからは行政や企業、学校を訪問するなど旅行ではできない経験ができ、とても濃密な時間を過ごすことができました。

就職支援の取り組み

From the careers office



キャリアセンターより

【4年生に向けて】

企業による本学学生の採用意欲は高く、今年度は11月までにすでに30,150件の求人が来ていますが、12月に入っても引き続き優良企業から求人が届いている状況です。キャリアセンターで企業の求人提供を受けるとともに、学内外での合同企業説明会についても積極的に活用してください。また、履歴書・エントリーシートの作成、面接対策など採用試験に向けての具体的な支援も行っています。準備不足で就職本番に臨むのではなく、準備を万全に、余裕をもって臨むためにも是非キャリアセンターをご利用ください。

【3年生に向けて】

夏以降、学内で個別面談を行い、学生一人ひとりの希望に合わせた就職支援を実施しています。1月になると企業によっては採用活動に入るところもありますので、キャリアセンターを利用して十分な準備をしてから、就職活動本番を迎えてください。

【保護者の方へ】

就職支援について、お子様の状況も含めてお聞きになりたいことがありましたら、遠慮なくキャリアセンターまでお問い合わせください。本学では、お子様、保護者の皆様、大学が三位一体となって就職対策に取り組んでいます。

1. ガイダンス・合同企業説明会等の予定

4年生		3年生	
3月	合同企業説明会	2月	全学ガイダンス【両キャンパス】
随時	求人提供、就職相談、面接練習、書類作成支援等	2月	合同業界研究セミナー【東生駒】 13(火)、15(木)、16(金)、20(火)、22(木)、23(金)、27(火) ※午前中に就職活動に役立つイベント実施

2. 平成29年度 学部・学科別主な就職内定先企業（順不同）

平成29年12月4日現在

文学部				経済学部		経営学部		法学部	
日本文化学科		文化創造学科							
大阪学芸高等学校(教諭)	教育	ダイシン化工株式会社	製造	大阪信用金庫	金融	大阪シティ信用金庫	金融	奈良県警察本部	公務(警察官)
奈良県農業協同組合	金融	酔鯨酒造株式会社	製造	奈良信用金庫	金融	大阪商工信用金庫	金融	大阪府警察本部	公務(警察官)
京都府漁業協同組合	金融	株式会社丸和不動産	不動産	奈良県農業協同組合	金融	奈良信用金庫	金融	警視庁	公務(警察官)
パナソニック株式会社 エコソリューションズ社	製造	中日本フード株式会社	卸売	株式会社ジェイテクト	製造	奈良県農業協同組合	金融	和歌山県警察本部	公務(警察官)
株式会社一条工務店	建設	フジエダ珈琲株式会社	サービス	日成ビルド工業株式会社	製造	大阪中河内農業協同組合	金融	大阪市消防局	公務(消防官)
積和不動産関西株式会社	不動産	株式会社アウルコーポレーション	サービス	西日本旅客鉄道株式会社	運輸	大阪富士工業株式会社	製造	株式会社南都銀行	金融
小野建株式会社	卸売	株式会社ニトリ	小売	大阪ガスLPG株式会社	ガス供給業	株式会社銭高組	建設	京都中央信用金庫	金融
西尾レントオール株式会社	サービス	株式会社スリーエム	小売	大東建託株式会社	建設	株式会社日立物流西日本	運輸	奈良県農業協同組合	金融
株式会社 共立メンテナンス	サービス	株式会社 ヴァンドームヤマダ	小売	日本住宅流通株式会社	不動産	三菱電機住環境システムズ株式会社	卸売	東洋シヤッター株式会社	製造
株式会社近商ストア	小売	株式会社田中時計店	小売	旭情報サービス株式会社	情報通信	ニッセイ情報テクノロジー株式会社	情報通信	ナブコドア株式会社	卸売

心理学部		現代生活学部					
		食物栄養学科		居住空間デザイン学科		こども学科	
奈良県警察本部	公務	三重県教育委員会(栄養教諭)	公務	大和ハウス工業株式会社	建設	大阪府教育委員会(小学校教諭)	公務
日本郵便株式会社	金融	ケンコーマヨネーズ株式会社	製造	大東建託株式会社	建設	東京都教育委員会(小学校教諭)	公務
第一生命保険株式会社	保険	わらべや日洋株式会社	製造	株式会社森組	建設	京都市教育委員会(小学校教諭)	公務
日本エスリード株式会社	不動産	株式会社日本アクセス	製造	株式会社ヤマダ・エスバイエルホーム	建設	横浜市教育委員会(小学校教諭)	公務
日産部品近畿販売株式会社	卸売	尾家産業株式会社	卸売	アイディホーム株式会社	建設	奈良市役所(保育教育士)	公務
株式会社 ホテルニューアワジ	サービス	株式会社わかさ生活	小売	株式会社レオハウス	建設	神戸市役所(保育士)	公務
阪神調剤ホールディング株式会社	小売	株式会社グリーンハウス	飲食	株式会社オープンハウス・ディベロップメント	建設	岸和田市役所(保育士)	公務
ロクシタンジャパン株式会社	小売	日清医療食品株式会社	飲食	株式会社J・フロント建装	建設	野洲市役所(保育園・幼稚園教諭)	公務
株式会社原田・ガトーフェスタハラダ	小売	オリジン東秀株式会社	飲食	トランスコスモス株式会社	建設	大淀町役場(保育士)	公務
株式会社阪急オアシス	小売	タリーズコーヒージャパン株式会社	飲食	大和リース株式会社	リース	精華町役場(保育士)	公務



就職相談員による面談の様子



3年生対象メイクアップ講座の様子

【お問合せ先】 キャリアセンター 奈良・東生駒キャンパス Tel 0742-48-9688 奈良・学園前キャンパス Tel 0742-41-4751



クラブ・サークルを通して、学内外で活躍する帝大生。
学生たちの元気な姿をお届けします。

ヘルスチーム 菜良

食育推進で精力的に活動しています！

2017 年前期の多方面での活動をレポートしました。

奈良市食育フェスタ2017

ヘルスチーム菜良は、食育月間である6月に奈良市民の食育への関心や理解を深めることを目的に実施される「奈良市食育フェスタ」に、毎年の参加が恒例となっています。テーマを決定してから当日まで、数ヶ月かけて手作りの広報媒体を準備しました。この広報媒体作りは1年生と交流する目的も兼ねており、できるだけ既存のものには頼らないように工夫して作成しました。

当日は、今回のフェスタの目的「食育への関心や理解」に関連付けて、「食べ物3色分類クイズ」「食育カルタ」「豆つかみ」「野菜ぬりえ」などを行いました。

言葉で学ぶよりは、体で体験したことを覚えてもらうことが大切だと考え工夫した甲斐があり、「そういうのがあるのね!!」と一緒に参加されたご両親にとっても、新しい発見があったようでした。

イベント参加への呼び込みに関してはさらに工夫の余地があると感じました。元気いっぱいいろいろなことに興味津々の子どもたちに、説明を聞いてもらい、参加してもらうまでが大変でしたが、目線を合わせて話しかけることで真剣にゲームに参加してくれました。一方ご両親には、会話の中に自分たちの学んできた知識を盛り込み伝える工夫をすることで、自分たちの話を聞いてもらうことができ、「家族で楽しめた」と言っていただくことができたことがとてもやりがいに感じました。

こども食堂

今回私たちが参加した「こども食堂」は、お子さんに対するものということに加え、地域で孤食となっている方々に、交流しながら食事をしてもらえる場を提供するというこの意義が強かったことが、とても印象的でした。

普段と環境が違うこともあり、“作業効率を考えなければならない”ということ学び、また、作ったものを食べていただく上で「彩り」の大切さを痛感しました。そんな中、完食していただいたことは、とても嬉しく励みとなりました。

今後もこども食堂をさらにたくさんの人々に継続して参加してもらえるよう活動を行っていきたいと考えています。と、同時に、参加者の皆さんに向けて食や季節に関連するものを作成していきたいと思っています！

また今後の活動予定として、ボランティアとは異なりますが、奈良の特産品を生かしたスイーツを製作し、奈良の復興を図るスイーツコンテストにも参加する予定です！



奈良・学園前 CAMPUS

enjoy cycle

自転車を楽しんでいます！

私たち enjoy cycle は、サイクリングを通じ適度に身体を動かしながら観光を楽しむことを目的として活動するサークルです。部員で事前ミーティングを行い、毎月第3日曜日にサイクリングしながら観光を楽しんでいます。今まで京都の嵐山を散策したり、イチゴ狩りや京都の有名なラーメン店を訪れたりもしました。自転車を持っていない部員や自宅が遠方の部員は現地でレンタサイクルを利用します。

昨年に続き、11月26日には伊勢志摩サイクリングフェスティバルへ参加しました。総勢1,000名の参加者たちと40kmの距離を朝8時からお昼過ぎにかけてサイクリングし、海岸沿いや展望台などの絶景ポイントを巡りながら、アオサの味噌汁や、てこ寿司と言った伊勢の名物料理をいただきました。大勢の方たちと走ったり食事をし、とても楽しい一日となりました。来春に向け、これからもイベントが目白押しです。今後も様々な企画をしてイベントを楽しみたいと思います！



奈良・学園前 CAMPUS

執行委員会

一人ひとりがキャンパスライフを100%楽しめる場所にします！

帝塚山大学 学生会「執行委員会」は学生自治の精神を養い、学生生活の発展向上に努める機関です。「執行委員会」では学生大会、代議委員会の議決を執行するのが大切な役割ですが、学生に向けたイベントなどを企画・運営し、皆に学生生活を愉しんでいただくフォローも行っています。

本年度より、学園前キャンパスで活動の「学園会」「イルミネーション推進委員会」「あかね祭実行委員会」、各団体との連携を強化し、相互の交流を通して幅広く活動しています。

委員会活動を行うことで、社交性やコミュニケーション力が高まり、各々のキャンパス、学部・学科の学生との交流の場も広がっています。

また学内外で行われているボランティア活動にも積極的に参加しています。

執行委員会では学生一人ひとりが主役になれる場所を整えていくことで、帝塚山大学が更に活性化されるよう、これからもアイデアを提供していきたく思っています。



4月：「奈良・東生駒キャンパス 新入生歓迎会にて」



12月：「奈良・学園前キャンパス イルミネーションの様子」

邦楽部

澄んだ音

私たち邦楽部は少人数ではありますが、昔ながらの曲、童謡から J-POP まで幅広い曲をお琴、三味線など和楽器を用い演奏しています。その中でも斬新な感覚の現代邦楽は多くの部員に人気があります。

週1回、師範の先生をお招きしての練習では、大学祭での演奏会の技術の向上を狙い力が入ります。

4月の新入生歓迎会では皆さんがCMで聞き覚えがあると思われる「海の声」を3名で演奏しました。

また春休みには老人ホームでボランティアの演奏会を行いました。この時は「月の旋律」「わらべ歌」「さくらさくら」「Jupiter」「春興」の5曲を演奏しました。以前お琴を演奏されたことのある女性に「懐かしいことです」と悦んでいただきました。

邦楽の良さは「音」が澄んで綺麗なところだと思います。澄んだ「音」を是非体感ください！



奈良・東生駒 CAMPUS

弓道部

その一射には価値がある。自分の力を最後まで

私たち帝大弓道部は総勢19名(男子10名・女子9名)で週に3回の練習と月1回の師範を招いての練習で大会や審査に向けて「弓を引いて」います。練習の成果では夏の弓道審査にて式段1名、初段8名が合格、奈良市大会では個人戦で優勝者も出ました。さらにこの夏、初の試みとして、弓道の専用競技施設のある三重県鈴鹿市、椿大神社椿自彊館にて2泊3日で合宿を行いました。違った環境で「弓を引く」ことは緊張感もあり試合実践の雰囲気を感じられ各人とも充実した3日間を過ごしました。現在は翌年度の全国大会、新人戦に向け練習に励んでいます。弓道は個人の努力、自己管理が重要ですが仲間とのコミュニケーションを大切にしながらチームワークも身につけているのが帝塚山大学弓道部の特徴です。弓道は集中力を高めたい方にはオススメの競技だと思います。創部50年を超えた帝大弓道部をこれからも応援よろしくお願いします！



奈良・東生駒 CAMPUS

地域連携 最新の取り組み

教育に目にみえる効果を - 地域連携・大学連携が大切な時代に向けて



学長補佐
(地域連携・産学官連携担当)
菅 万希子 教授

教育現場でも地域連携が大きく注目される理由の一つとして、学んだ知識を応用する力がつくことにあります。その効果は、実践力のある学生を強く求める社会ニーズに合致しています。二つ目は、学生時代に心にゆとりをもって社会にふれ、社会に役立つ経験を積むことで、自らが社会に有用であると自信をつけ、同時に優しさや豊かな感情を育むことができ、人間力が醸成されます。

本学では学部ごと、または学部横断的に、さらに広く他大学とも数多くの地域連携活動が行われています。目的を持ったチームの中で切磋琢磨し、くじけることのない強い心と、人を思いやる優しい心をもつことも期待できます。今後も保護者の皆様と共に手に手をとって、学生を「はぐくむ」ことに邁進していきます。知識の学びの活用と心を育てる場として、大学の地域連携活動に積極的に参加されることを期待しています。

1 奈良市との連携事業でふるさと納税について、調査と分析を行いました。

近年、よく耳にするふるさと納税の施策について理解をするため、奈良市やふるさと納税品事業者や一般市民の方等から意見を聞きとり、調査を行いました。また、法制度を調べて理解し、経済効果の測定、マーケティング戦略の分析を行い、施策につき自分なりの結論をもつことができました。その結果を、奈良市長へのプレゼンテーションやコンテスト等で発表するまでの一連の経験から、自分自身や周囲、社会や日本の将来の課題や解決方法について考え、意見を述べ、議論をすることができる力がつきました。



奈良市長にプレゼン報告を行いました

2 生駒市・生駒商工会議所・生駒観光協会との連携プロジェクトを実施しました。



イコマでの試食の様子

生駒市で今年開設された女性起業家向け施設「イコマ」でのランチメニューを開発し、生駒市、生駒商工会議所の方々の前で発表しました。モノが溢れる現代は、企業が「売れる」商品・サービスを追求している時代でもあります。このプロジェクトでは、学部横断的に「売れる」商品開発に取り組みました。マーケティングでは「売れる」メニューについて調査し、調理学では調査結果を組み込んだメニューを開発しました。生駒市長他、市民の方も多く参加された試食会で学生たちの活動は絶賛されました。

3 明日香幼稚園「3時からのわくわくいろいろあそび」が始まりました。

子どもたちの感性を高める保育を深めたいという明日香村立明日香幼稚園の思いにこども学科がお手伝いして、プロジェクト保育「3時からのわくわくいろいろあそび！」が5月から始まりました。

通常の保育終了後、午後3時から4時半までの保育を希望する4歳児、5歳児を対象にし、心も体もわくわくして自己表現できる子どもをめざす総合表現遊び、また身近な題材から子どもたちが感じていることを拾いながらの総合的な表現遊びを、こども学科の教員と3年生、4年生12名の学生が企画し実践しました。

全11回のうち9回は、食べ物・動物を題材に、子どもたちの言葉・音楽・身体での表現する心を揺り動かすような遊びを心がけました。3回は数や形の遊びを実施しました。パターンブロック、マグフォーマー、ポリドロンという教具を使って子どもたちがいろいろな形を作りました。どの回も子どもたちは楽しみながら集中して取り組みました。遊びの部屋に入ってくる時の子どもたちの様子から、この遊びの時間を待ち遠しいと思ってくれていることが伺えました。

毎回、園児の豊かな発想力や予想外の反応に対応しなければならない場面がありましたが、学生の対応は回を重ねるごとにしっかりしてきました。企画段階から多くのことを学ぶことができる機会であり、今後もさらに継続していきます。



パターンブロックで遊ぶ子どもたち



動物指人形で遊ぶ子どもたち



1 大学附属博物館での打ち合わせの様子
2 学生による拓本採取作業の様子
3 できあがった「幡身・幡足」試作品

4 古代瓦の図案がデザインされた「T's 幡」
5 ついに完成した「T's 幡」の前で記念撮影
(11月18日虹色祭にて)

日本文化学科・居住空間デザイン学科連携による「T's 幡 (テツバン) プロジェクト」

「T's 幡 (テツバン) プロジェクト」とは、蓮花学長が「学長プロジェクト」として提唱する本学のブランディング戦略 (P19 参照) の一環で、文学部日本文化学科・清水昭博教授と現代生活学部居住空間デザイン学科・新海俊一准教授、そして各ゼミ学生たちが協働でデザイン制作に取り組み、幡 (ばん) を制作・展示するといった学科間コラボレーションの取り組みです。

幡とは仏教の祭祀に用いられた縦に長い旗状の装飾具で、「T's 幡」には、日本における仏教発祥の地である奈良を象徴する古代瓦の図案が活用されています。

8月に、それまで2ヶ月余りにわたって取り組んできたデザインの成果を蓮花学長にプレゼンテーションし、「T's 幡」を11月の虹色祭 (大学祭) でお披露目し、あわせて制作の過程をラーニングコモンズで展示発表しました。

長瀬 好太郎さん (日本文化学科3年)
瓦の拓本採取の際、きれいに文様が取れるか配慮しながらの細かい作業となり、大変苦労しました。展示発表では、自分の解説を聞いてくださる方々の様子を見てみると、うまく興味を引き出せたのではと感じることが何度かあり、自分の苦手な部分が少し克服できたのでは感じています。

中島 修治さん (日本文化学科3年)
まず幡がどのようなものかしっかりと調べ、初めて見た方々にも正確な解説ができるように理解を深めることから取り組みました。拓本採取作業の際には、丁寧に正確に作業する中で、今まで以上に集中力や繊細な作業技術を身につけることができ、貴重な体験となりました。

一色 美佑奈さん (居住空間デザイン学科2年)
プロジェクトがスタートした際には、これほど試行錯誤を繰り返す取り組みになるとは思っていませんでした。デザイン制作作業も細かい部分もきちんと丁寧にしないと実際の印刷時に大きな問題になることがわかり、小さなことにも妥協しない粘り強い自分に成長できました。

古田 真衣さん (居住空間デザイン学科2年)
華やかさもあつ「古都奈良」という奥ゆかしい印象を取り入れたというコンセプトがとても難しかったです。デザイン制作に Adobe Illustrator や Photoshop を活用したことから、授業の課題でポートフォリオを作成する際にも、写真のレイアウトや全体のバランスのメリハリに気を付けて作成するようになりました。

清水先生
日本文化学科が担当したのは幡の歴史や奈良との関わりを調べ、デザインの基になった瓦の拓本をとる作業も行うことでした。打ち合わせ、学長へのプレゼンテーション、虹色祭での展示解説などの経験によつ

て、社会人にとって大切な「現場力」を学んだことと思います。居住空間デザイン学科の学生たちには、デザインや展示に対するこだわりとセンスを感じました。今後もしっかりとめざす道を歩んでいただきたいと思っています。

新海先生
学生たちは大学の看板を担うプロジェクトを通じて、苦労と喜びを伴うデザイン実務のプロセスを体験し、スタート時点より遥に高い技術や知識、デザインマインドを身につけています。これから、より困難な課題に直面することもあるでしょうが、半年にわたって時間を見つけては作業を進め、「T's 幡」を実現させた経験は新たな困難を乗り越える勇気と自信を与えてくれるでしょう。

学内で「T's 幡」が風になびく姿は、本学が古都奈良の地に立地することを強くイメージさせ、本学のブランド力を一層向上させるアイコンとなるでしょう。このプロジェクトに取り組んだ学生たちは、自分の作ったデザインの幡が実際に飾られることになり、実学の帝塚山大学で学ぶことを実感できたと思います。また、学科間のコラボレーションから楽しい刺激を受け、改めて「文化を学び、その魅力を人に伝えること」の難しさやおもしろさを実感できたようです。

帝塚山大学所蔵 Chair Gallery 紹介 **セブントチェア** (Seven Chair) 1955年

現代生活学部 居住空間デザイン学科 准教授

矢部 仁見



数字の7に似たフォルムからつけられた名を持つこの椅子をデザインしたのは、デンマークの近代建築家

アルネ・ヤコブセンである。先に紹介したアントチェアと同じく1枚の合板を3次曲面に成形する技術を使い、より快適な座り心地が得られるものとしてつくられた。世界で最もデザインをコピーされた椅子とも言われている。

ヤコブセンを含む当時の近代建築家が生み出す合理的で直線的な印象を持つ建築は美しいが、その空間で長い時間を過ごすものにとつては時に冷たく緊張を強いられる場所ともなった。対してこの椅子の

なめらかなかたちはオーガニック。デザインとも言われ、生命あるものが持つ柔らかく温かいフォルムで人と空間を仲介する役目を果たす。ヤコブセンは常に建築とそこに使われる多くのインテリア・エレメントのトータル・デザインを目指したが、そこで生み出された品々が北欧デザインの名品として今に生きているのは、この椅子のデザインにも表れている空間の中の人に向けられた思いがあるからではないだろうか。

奈良学 への招待

南都文化圏としての 南山城、その奥深さ

文学部 日本文化学科 准教授

杉崎 貴英

京都府の南端、奈良市に接して木津川市がある。十年前、木津町・加茂町・山城町が合併して誕生した市で、近隣都市のベッドタウンとして変貌が著しいが、仏教美術史上に著名な文化財を伝えることも特筆される。いわゆる南山城のうちでも奈良(南都)との関わりがとくに強かった地である。

観音坐像(重要文化財)。若々しい姿が印象的な、鎌倉前期の奈良仏師の作品である。筆者は、貞慶(興福寺出身)の観音信仰が背景にあると考えている。

国宝建築がある浄瑠璃寺や海住山寺は名高いが、知られざる、あるいは知る人ぞ知る寺院も多い。JR加茂駅にほど近い現光寺もその一つである。本尊は木造十一面

昨秋の「京都非公開文化財特別公開」では、53回を数えるこの事業では初めて、木津川市の古寺四か所が公開された。久しぶりに現光寺を訪れて驚いた。収蔵庫の前に、全国からの観光客が行列をなしていたのである。小さな無住の寺の静かなたたずまいも魅力となっていたようだ。南都文化圏としての南

山城、その奥深さに対する関心がひろく高まりをみせている。



紅葉が映える秋の現光寺境内

本学教員の執筆図書紹介 Teachers' Publications

TEZUKAYAMA books

伊藤 知子
(現代生活学部 教授) 分担執筆
栄養士・管理栄養士をめざす人の
調理・献立作成の基礎
化学同人
¥1,620



稲熊 隆博
(現代生活学部 教授) 分担執筆
食品の成分と機能
(食物学 1)
建帛社 ¥2,376



岩井 洋 (文学部 教授)
奥村 玲香 (全学教育開発センター 准教授)
元根 朋美 (現代生活学部 准教授) 共著
プレステップキャリア
デザイン 第4版
弘文堂 ¥1,944



川口 洋
(文学部 教授) 分担執筆
出会いと結婚
(家族研究の最前線 2)
日本経済評論社 ¥5,616



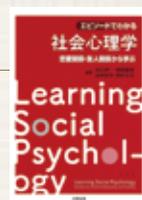
志垣 瞳
(帝塚山大学 名誉教授) 分担執筆
すし：ちらしずし・巻きずし・押しずしなど
農山漁村文化協会 ¥1,728



杉崎 貴英
(文学部 准教授) 分担執筆
異人探究
泰澄十一の疑問
越前町教育委員会



谷口 淳一
(心理学部 教授) 編著
エピソードでわかる
社会心理学
北樹出版 ¥2,268



藤原 永年
(現代生活学部 教授) 分担執筆
結核 改訂版
医薬ジャーナル社
¥7,992



蓮花 一己
(帝塚山大学 学長) 分担執筆
交通心理学
(シリーズ心理学と仕事18)
北大路書房
¥2,268



(著者名50音順)

後援会（在校生保護者）の皆様へ

To the supporters' association



平成 29 年度保護者教育懇談会を開催しました

10月21日に奈良・東生駒キャンパスで、22日に奈良・学園前キャンパスで、帝塚山大学後援会の協力のもと、「平成29年度帝塚山大学保護者教育懇談会」を開催しました。両キャンパス合わせて約250名の保護者の方々が出席されました。

この懇談会は、保護者の方と教職員が本学の授業、就職、生活支援などについて話す機会を設けることにより、学生の修学環境に関して理解を深めていただくことを目的として開催しています。

初めに全体会が行われ、役職者の紹介に続いて蓮花学長が挨拶を行いました。その中で学長は、進学情報雑誌社の行った調査で本学が「面倒見のよい大学」として全国の国公立大学約780校の中で35位、近畿圏においては5位にランクインしたことに触れ、本学がそのジャンルで社会的に高く評価されていることを説明しました。その上で、「教員と学生の距離が近い大学として、『教える』教員と『育つ』学生との共同作業を通じて、学生の成長を教職員が一丸となって支えていきたい」と語りました。

その後、株式会社マイナビ 西日本統括部統括部長 藤原武史氏より「今どきの就活事情と保護者の支援」と題して、保護者の方々の関心が高いテーマである「就職活動」についてご講演いただきました。その中で「家族に求められる就職支援」について説明され、保護者は一番身近な存在として、学生の長所や特徴を掘り下げ、「本人しかない良さ」を気づかせてあげて欲しいと強調されました。

全体会終了後は、学科別説明会および情報交換会を実施しました。学科の特色ある取り組みや単位修得方法の説明のほか、教員との個別面談が行われるなど、中身の濃い時間となりました。立食形式の昼食会では、保護者の方と教職員が個別に相談したり談笑する光景が、数多く見られました。昼食会の後は、学生が日々学んでいる教室や施設を見学するツアーも行われました。

本学は今後も「学生への教育・支援がきめ細かい」大学をめざし、学生一人ひとりに寄り添った教育活動を展開していきます。

平成 29 年度帝塚山大学保護者教育懇談会



参加者数内訳

文・人文	17 家庭 (うち日文11、文創6)	25 人 (うち日文16、文創9)	※前年13 家庭 (日文9、文創4)	19 人 (日文14、文創5)
経済	23 家庭	30 人	※前年27 家庭	37 人
経営・経営情報	25 家庭	36 人	※前年17 家庭	21 人
法	18 家庭	24 人	※前年15 家庭	21 人
			心理	28 家庭
			43 人	※前年31 家庭
			44 人	
			食物栄養	26 家庭
			36 人	※前年30 家庭
			45 人	
			居住空間デザイン	15 家庭
			23 人	※前年 9 家庭
			13 人	
			子ども	17 家庭
			26 人	※前年13 家庭
			16 人	

保護者対象就職説明会を開催しました

3年生の保護者の方を対象とした「保護者対象就職説明会」が12月9日、奈良・東生駒キャンパスで行われ、77名の保護者の方々が出席されました。

最初に蓮花学長から挨拶があり、続いて渡邊キャリアセンター課長から「12月以降の就職活動と保護者のサポートについて」と題して、今年度の就職状況やキャリアセンターの取り組み、保護者の方へのお願いなどについて説明がありました。

その後、現4年生によるパネルディスカッションがあり、参加された保護者の方からいただいた質問を中心に、参加学生が考えを述べました。「どれぐらいお金がかかったか」「結果がうまく出ないときに保護者に言ってもらいたかったこと、やってもらいたかったこと」「アルバイトはどの程度していたか」「就職活動を終えての反省点」「面接試験で質問されたこと」など、これから保護者の方や就活生が直面することに関する具体的な質問についても、学生は丁寧に回答していました。保護者の方は学生が考えを述べる度に熱心にメモを取ったり、頷いたりされていました。

終了後、個別に保護者の方が職員に質問し、就職活動に対する疑問を解消していました。



平成 29 年度帝塚山大学卒業式・帝塚山大学大学院修了式を挙ります

平成 30 年 3 月 20 日 (火) 13 時 00 分開式 (入場受付: 12 時 ~ 12 時 30 分)

【会場】 グランキューブ大阪 (大阪国際会議場) 5 階メインホール

▼8月9日
シニア向け公開講座を開催

奈良・学園前キャンパスにおいて、シニアの方を対象とした公開講座「高齢期を快適に過ごすための食事のとり方について考えましょう」が開催され、現代生活学部食物栄養学科の新生賀賀教授が高齢期に応じた食事のとり方について、詳しい解説や、咀嚼チェックゲームによる「噛む力」のチェックを行いました。



▼8月18日
明日香村との連携協力に関する協定を締結

相互の人的・知的資源の交流・活用を図り、地域の発展及び活性化、教育研究の促進への寄与をめざし、明日香村と連携協力に関する協定を締結しました。締結式では、明日香村の森川裕二村長と蓮花一己帝塚山大学長が協定書に署名し、笑顔で記念撮影に応えました。



▼9月10日
産官学連携「球場を満員にするプロジェクト2017」を開催

集大成である「オリックス・バファローズ対広島東洋カープ」の試合が佐藤薬品バファローズスタジアムにて行われ、今年も多くの方に球場にお越しいただくことに成功しました。幅広い年齢層の観客呼び込むことを目的として学生が企画を練った同時開催イベントも賑わいを見せていました。



▼9月27日
平成29年9月卒業式を挙げる

奈良・東生駒キャンパスにおいて行われ、25名に卒業証書と学位記が授与されました。

9月28日

近畿日本鉄道グループ提供講座「観光ビジネス入門」を開講

経営学部では近畿日本鉄道グループによる提供講座「観光ビジネス入門」が合計15回開講され、第1回目の講義が行われました。近鉄グループホールディングス株式会社広報部 杉本昌弘氏に「近鉄グループの文化事業」をテーマに講義をしていただき、学生たちは熱心に講義に参加していました。



▼10月3日

本学初の「NPO実務士」資格取得者が誕生
「NPO実務士」資格取得者への証書授与式が奈良・東生駒キャンパスにおいて行われました。本資格は非営利団体(NPO)の組織運営にかかわる際に役立つもので、文学部文化創造学科で所定の科目を修了すると取得できる資格です。本学では今回が初(1期生)の授与となり、7名の資格取得者が誕生しました。



▼10月15日

公開講座&ウォーク「大化の改新と藤原鎌足の遺跡を訪ねる」を開催

本学と公益財団法人古都飛鳥保存財団は、飛鳥をフィールドとした生きた大学教育の推進並びに飛鳥地域の保存・発展に寄与することを目的に連携協定を結んでおり、その一環として奈良県高市郡明日香村で「大化の改新と藤原鎌足の遺跡を訪ねる」をテーマとして開催されました。当日は雨天にもかかわらず多くの方にご参加いただき、文学部文化創造学科牟田口章人教授の解説を聞きながら、飛鳥の史跡や資料館を訪れました。



第53回虹色祭・ホームカミングパーティを開催しました

11月18日・19日の2日間にわたり、奈良・東生駒キャンパスにおいて、第53回「虹色祭」(大学祭)を開催しました。

人と人とのつながりを大切に、このイベントに参加するさまざまな人々との新たな絆を結んでいこうという思いからつけられた今年のテーマは「結(むすび)」。初日は小雨交じりの天候にもかかわらず多くの方に来場いただき、模擬店では「大塔カレー」や「大和ベジサイダー」など、「実学の帝塚山大学」ならではの出店も見られ、いずれも早々に完売していました。1日目を締めくくる青山テルマさんのライブは大変な盛り上がりとなりました。2日目もお笑いライブやミスコンテストなどさまざまな催しが行われました。今年で6回目を迎えるホームカミングパーティも開かれ、卒業生や教員が食事を楽しみながら旧交を温めました。フィナーレでは毎年恒例となった打ち上げ花火が夜空を彩り、虹色祭は幕を閉じました。



▼10月27日～28日

西日本学生選手権大会において本学初の金メダリスト誕生！

レスリング部は大阪府堺市・金岡公園体育館で開催された平成29年度西日本学生レスリング選手権大会に出場しました。西日本レベルでは最高レベルの本大会において、経済学部の竹内亮巨さんが激戦を勝ち抜き、ついに念願の優勝を果たして本学初の金メダルの栄冠を手に入れました。

11月

November

▼11月2日

ゾロアスター教浮彫板絵を発見

本学とウズベキスタン考古学研究所が本年9月に共同実施した調査において、ゾロアスター教の浮き彫り板絵が発見されました。完全な形で発掘されたことは初めてのことであり、シルクロード交流の解明にあたって重要な意義があるとして、記者会見を行いました。

▼11月11日

IKOMA Civic Tech Award 2017で、アドバンスプログラム所属の学生が入賞

経済・経営・法の3学部連携教育プログラム「アドバンスプログラム」では、さまざまな教育プログラムを実施しており、IT技術を駆使

して地域の課題を解決するアイデアコンテスト

「IKOMA Civic Tech Award 2017」において、最優秀賞に法学部の大西真さん、優秀賞に経営学部の柳田泰典さんが選ばれました。

▼11月29日

第64回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学

女子選手権大会で2回戦進出

女子バレーボール部は2回戦で西日本チャンピオンの福岡大学をフルセット12-18まで追いつめながらの惜敗となりました。1年の締めくくりとして大きな成果を残しました。

12月

December

▼12月3日

社会人基礎力育成グランプリで「河合ゼミ生」が優秀賞を受賞！

「平成29年度社会人基礎力育成グランプリ近畿地区予選大会」に現代生活学部食物栄養学科の河合ゼミ生が出場し、「地域振興支援に挑戦するTEZUcage（学生レストラン）3期生」というテーマで発表を

行った亀井結さん、村上友美さん、由井良祐さんが、出場校12チームの中から優秀賞を受賞し、東京で行われる全国大会への出場を決めました。



多摩大学との大学連携による各種取り組み紹介

■ 2017年度「多摩大アクティブ・ラーニング発表祭」に参加しました

「帝塚山大学と多摩大学の学術交流に関する包括協定」にもとづく大学連携の一環として、12月9日、多摩大学（東京）において、2017年度「多摩大アクティブ・ラーニング発表祭」が開催され、本学の法学部法学科、現代生活学部食物栄養学科から2チームの学生が参加し、発表を行いました。

本学最初の発表は、法学部法学科チームによる「奈良県警察と取り組む防犯リーダーの育成」でした。法学部では地元警察と連携した防犯ボランティアサークルに参加する学生が多いことをふまえ、地域住民が犯罪等の被害に遭わないよう各警察署で実施する広報啓発活動や、防犯パトロール等に取り組む大学生ボランティア「あっぷりけ戦隊！奈良まもりたい」、少年非行の立ち直り支援活動や街頭啓発活動、非行・被害防止教室などに取り組む「少年フォロース奈 POLI（ナポリ）」の活動などについて、内容や成果の発表を行いました。

続いて、現代生活学部食物栄養学科チームによる「地域在宅高齢者の咀嚼力、味覚に応じた食事提供について」を発表しました。この4月から実施している地域在住高齢者への食べやすい食事の提供などの食支援を通じて高齢者のアセスメントを行い、調理により味・硬さなどに配慮した食材を高齢者個人の状態に応じて提供ができないか検討し、噛めないとおべにくい肉料理の硬さや味付けについて分析、福祉施設等で行った咀嚼回数を検証する調査の結果、判明した事項についての発表を行いました。

多摩大学の発表祭が、本学では「実学の帝塚山大学」実践学生発表祭となったものですが、回を重ねるごとに、同世代の学生同士が刺激し合い、良い効果をもたらしてくれていることが伺えます。双方、引き続き切磋琢磨しながらの交流に期待します。



催し終了後の記念撮影で多摩大学の先生方と



法学科チーム発表の様子



食物栄養学科チーム発表の様子

帝塚山大学奈良学総合文化研究所
「名品・名作誕生XV」

申込不要 聴講無料

- 第1回 2月3日(土) 10:30~12:00**
演題 大阪・葛井寺 国宝千手観音像の誕生をめぐって
 ー日本最古の「真数千手」、その造形と背景をさぐるー
 講師: 杉崎 貴英 (帝塚山大学文学部准教授)
- 第2回 2月17日(土) 10:30~12:00**
演題 東大寺戒壇堂四天王像
 ー塑像の眼差しにこめた天平人の祈りー
 講師: 戸花 亜利州 (帝塚山大学文学部講師)
- 第3回 2月24日(土) 10:30~12:00**
演題 源氏物語の成立と巻名
 講師: 清水 婦久子 (帝塚山大学文学部教授)
- 第4回 3月3日(土) 10:30~12:00**
演題 大伴家持の生涯
 講師: 鷲森 浩幸 (帝塚山大学文学部教授)

定員: 各回100名
 会場: 奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室

【お問い合わせ先】

帝塚山大学 奈良学総合文化研究所
 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
 Tel 0742-48-8842 (火・木・金 9時~17時)

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催
市民大学講座

申込不要 聴講無料

- 第396回 1月20日(土) 14:00~15:30**
「物質文化にみる生活象徴
ーかつての生活文化をみつめるー
 <博物館実習生による企画展示関連講座>
 講師: 裏 直記 (帝塚山大学非常勤講師)
- 第397回 1月27日(土) 14:00~15:30**
「看板にみる広告術ー人々を魅了する意匠の形ー
 <博物館実習生による企画展示関連講座>
 講師: 戸花 亜利州 (帝塚山大学文学部講師)
- 第398回 2月10日(土) 14:00~15:30**
「古建築のおもしろさ ー日韓寺院建築のあれこれー
 講師: 崔 ゴウン氏 (公益財団法人竹中大工道具館研究員)
- 第399回 2月17日(土) 14:00~15:30**
「歴史探索のおもしろさ
ーひとつの鈴が変えた歴史の流れー
 講師: 伊藤 純 (帝塚山大学非常勤講師)
- 第400回 3月17日(土) 14:00~15:30**
「推古朝の四十六か寺をめぐって」
 講師: 清水 昭博
 (帝塚山大学考古学研究所長・附属博物館長)
- 第401回 3月24日(土) 14:00~15:30**
「隋が滅び唐が立つー推古朝・それから1400年ー
 講師: 甲斐 弓子氏 (学國史料室特別研究員/
 帝塚山大学考古学研究所特別研究員)

定員: 各回200名
 会場: 奈良・東生駒キャンパス2号館2101教室

【お問い合わせ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館
 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
 Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783
 考古学研究所: <http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/institute/arch/>
 arch@tezukayama-u.ac.jp

2018 January-June

INFORMATION & EVENT NEWS

お知らせ・
イベントニュース

冬季一斉休業のお知らせ

帝塚山大学は、12月28日(木)~1月8日(月)まで、冬季一斉休業期間となっています。お電話、メール等のお問い合わせにはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。メールやホームページからのお問い合わせに対しては、一斉休業終了後に順次対応させていただきます。

Public lecture
公開講座

帝塚山大学・(公財)奈良市生涯学習財団
共催公開講座

要申込 聴講無料

「古都奈良の仏さまの魅力に触れる、楽しむ」

6世紀中頃に伝来した仏教は、千数百年にわたって人々の篤い信仰心に支えられ、信仰の広がりとともに多種多様な仏像が制作されました。現在でも、国内外を問わず多くの方が奈良を訪れて仏像を拝観し、仏像に関する関心はますます高まっているといえます。

初回の講座では私たちが目にする仏像にはどのような種類があるのか、また、どういった目的で造られたのか等をやさしく解説します。第二回では有名な興福寺阿修羅像について、制作背景や見所などを紹介したいと思います。

第1回 3月3日(土) 10:00~11:30
「やさしい仏さまの観かた楽しみかた」

第2回 3月17日(土) 10:00~11:30
「興福寺阿修羅像ー三つの顔に込められた祈りのかたちー」

定員: 50名 ※全2回講座
 講師: 戸花 亜利州 (帝塚山大学文学部講師)
 会場: 西部公民館 4階 会議室



【申込・お問い合わせ先】

往復ハガキ (講座名・〒住所・電話番号・名前(ふりがな)・年齢を必ず記入)
 または、下記URLより「参加申込」フォームでお申込みください。

公益財団法人 奈良市生涯学習財団 西部公民館
 〒631-0034 奈良市学園南三丁目1番5号 西部会館内
 Tel 0742-44-0101 Fax 0742-44-0103
<http://manabunara.jp/>

Museum Announcements

博物館からのお知らせ

企画展示 第10回帝塚山大学博物館実習生による「温故知民」

大学博物館は人々の知的関心に応える地域文化の中核的拠点としての役割が求められており、本学では附属博物館にて博物館実習生による展示実習を行っています。本学所蔵の民具資料を用いて、「商業」と「吉祥と遊び」をテーマとした企画展示を行います。今回、明治から昭和に使用された商いに関する資料や玩具などを展示し、これらの名称や製作目的を知っていただくとともに、実習生が本学で学んだ成果をご覧ください。

[期間] 1月15日(月)～2月3日(土)
 [開館時間] 9:30～16:30
 [入場料] 無料
 [休館日] 日曜・祝日 ※1/25(木)・26(金)は休館
 [博物館実習生によるギャラリートーク] 1/20(土)・27(土) 15:45～16:15

【お問い合わせ先】

帝塚山大学附属博物館

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783
<http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/>



General Affairs Center Announcements

総務センターからのお知らせ

本学の「『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進」が文部科学省「平成29年度 私立大学研究ブランディング事業」に採択されました

本学の「『帝塚山プラットフォーム』の構築による学際的『奈良学』研究の推進」が、文部科学省の「平成29年度 私立大学研究ブランディング事業（タイプA【社会展開型】）」に採択されました。

タイプAは、地域の経済・社会、雇用、文化の発展や特定分野の発展・深化に寄与する研究：特定の地域あるいは分野における、地域の資源活用、産業の振興・観光資源の発掘・文化の発展への寄与、企業や雇用の創出等を目的とするもので、全国の123の私立大学・短期大学等が申請し、本学を含め、33件が採択されました。近畿地区では、37件の申請に対し、9件が採択されました。

本事業は、奈良県全体を研究のフィールドとする本学独自の「奈良まるごとキャンパス®」構想にもとづき「帝塚山プラットフォーム」を構築して学際的な「奈良学」研究を推進することで、奈良に存在する様々な

文化資産や観光資源を再発見し、地域と協働でその成果を広く社会に発信して、地域の活性化と創生に結び付けることを目的としています。

本事業で推進する「奈良学」は、帝塚山短期大学（平成12年度に本学組織に組み入れ）の名誉教授・故 青山茂氏が1980年代に提唱したもので、奈良を対象とした単なる「郷土史」や従来の「日本古代史」ではなく、巨視的な「鳥の目」で全体を俯瞰し、日本の歴史文化における奈良の位置づけを考えるとともに、微視的な「蟻の目」で人々を洞察し、奈良を通して日本全体の歴史文化を考察するというものです。

本学は、「奈良学」を通じて、奈良独自の地域性を明らかにするとともに、多方面にわたる学際的な研究を展開します。この研究成果は、本学ホームページやシンポジウム等を通して地域に情報発信していきます。



INFORMATION & EVENT NEWS



国際交流

留学生紹介

経済学部2年生のゲン・マン・クオンさんは、ベトナムのハノイ出身です。本国で大学に通っていましたが、どうしても日本で勉強をしたい気持ちが強くなり、大学を途中で退学して来日し、大阪国際教育学院とECC国際外語専門学校で日本語を学びました。

将来は貿易等、日本とベトナムとの間の架け橋となる仕事に就くべく、本学の経済学部に入學し、勉学にいそむ毎日です。マイクロソフト オフィス スペシャルリスト(MOS)やファイナンシャルプランナー(FP)の資格へ挑戦するための勉強も行い、FPに関しては、3級に合格したそうです。ベトナムで楽しんでいたバドミントンを本学のクラブ活動で続けており、週3回、各回3時間の練習メニューをこなしています。留学生の多くはクラブ・サークル活動まで行うことができず、そのまま卒業していきますが、ゲンさんはうまく勉強と両立させている数少ない留学生のひとりです。



バドミントン部のメンバーと(中央がゲンさん)

また11月の虹色祭で、他のベトナム人留学生とともに、ベトナム料理の屋台を出店しました。料理が趣味のゲンさんが考えたメニューは「揚げ春巻き」です。日本で食べることのできる「春巻き」とは味が違うようので、「虹色祭に来てくれた日本人に満足してもらえよう、本物のベトナム料理を提供しました」とのことです。

ゲンさんいわく、日本に来る前は「安全で経済が発展している国」というイメージだけだったそうです。しかし、実際に来てみた日本は、道にはゴミが落ちておらず、みんなが秩序を守って生活しており、日々静かな住環境で暮らせるところも含め、とても気に入っているとのこと。そしてなにより、日本人の人に対する「思いやり」がすばらしい、と語ってくれました。



虹色祭へ出店した春巻き屋さんも好評でした

2018年度 学部入試日程一覧

入試制度	出願期間			試験実施日	合格発表	
	開始	終了 (最終日消印有効)	窓口受付日			
一般入試	A日程前期	1月4日(木)	1月19日(金)	1月20日(土) 1月22日(月)	1月25日(木) 1月26日(金)	2月3日(土)
	A日程後期		1月31日(水)	2月1日(木) ~2月3日(土)	2月4日(日)	2月9日(金)
	B日程	1月23日(火)	2月15日(木)	2月16日(金) 2月17日(土)	2月20日(火) 2月21日(水)	2月28日(水)
	C日程	2月13日(火)	3月2日(金)	3月3日(土) 3月5日(月)	3月7日(水)	3月11日(日)
大学入試センター試験利用入試	前期	1月4日(木)	2月1日(木)	—	—	2月9日(金)
	後期	2月13日(火)	3月2日(金)	—	—	3月11日(日)

大学入試センター試験利用入試に関しては個別学力検査は実施しません。

入試制度	出願期間			試験実施日	合格発表	
	開始	終了 (最終日消印有効)	窓口受付日			
帰国生徒・外国人学生試験	後期	1月19日(金)	2月1日(木)	—	2月20日(火)	2月28日(水)
外国人留学生試験	後期	1月19日(金)	2月1日(木)	—	2月20日(火)	2月28日(水)
AO入試	3月	2月26日(月)	3月9日(金)	3月10日(土) 3月12日(月)	3月14日(水)	3月15日(木)
ファミリー入試*	3月	2月26日(月)	3月9日(金)	3月10日(土) 3月12日(月)	3月14日(水)	3月15日(木)

*学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校(幼・小・中・高・大・大学院と短大)の卒業生もしくは在校生、在学生の2親等以内の親族(兄弟姉妹、子、孫など)を対象とした入試です。詳しくは入試課までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】帝塚山大学 入試課

Tel 0742-48-8821(直通) ☒ nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

2018年度 大学院入試日程一覧

博士前期課程・博士後期課程

出願期間 1月26日(金) ~ 2月2日(金)

締切日消印有効

選考日程 2月15日(木)※ 合格発表 2月22日(木)

※選考方法については、右記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

人文科学研究科 日本伝統文化専攻

〒631-8501 奈良市帝塚山7丁目1-1
Tel 0742-48-8150 [教学支援課(文学部)]

心理科学研究科 心理科学専攻(心理学専修・臨床心理学専修)

〒631-8585 奈良市学園南3丁目1-3
Tel 0742-41-4720 [教学支援課(心理学部)]



「大学通信帝塚山」企画・編集委員会

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 Tel 0742-48-9192 Fax 0742-48-6092
☒ koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp
URL : http://www.tezukayama-u.ac.jp/

